

学校経営 ビジョン	夢や目標をもてるよう「導き」、身に付く力となるよう「鍛え」、一人一人に「寄り添い」ながらニーズに合った指導や支援を行い、成長や変化を「見届け」て工夫・改善に取り組むことで、児童が「明日も行きたいと感じる学校」の実現を目指す。
--------------	--

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	結果の考察・分析および改善策等	自己 評価	関係者 評価	学校関係者評価のコメント
知 育	<p>重点目標： 学力の向上</p> <p>手段： 1 児童がわかる・できると感じる授業実践 2 考えや思いを積極的に表現する力の育成 3 進んで読書に取り組む児童の育成 4 家庭学習の充実</p>	<p>1について (1) アウトプットを意識した授業づくりを行っている。継続して取り組んでいく必要がある。 (2) 単元テストは目標をほぼ達成している。学力テスト（全国）の分析を行い、分析に基づいた手立てをとっている。学力テスト（県、CRT）の結果はまだ出ていないため、評価が低いと思われる。 (3) ICTについては、大型テレビを含め、積極的に使用し授業の充実を図っている。スマイルネクストなどデジタルコンテンツを試用期間で使っているが、児童は積極的に取り組み基礎学力の定着につながっている。予算があれば、来年度も使えたい。ICT 支援員の支援が大きく関係しており、教員も子どもの ICT スキルが向上し、より新しい取り組みも授業に取り入れられた。来年度もぜひお願いしたい。</p> <p>2について (1) 話すことはできるようになってきた。聞くこともできるようになってきた。まだ練習合う段階は難しい。今後も授業だけでなく、スピーチや日常指導継続して取り組んでいく。低学年は、読み聞かせの効果効力が効く態度につながっている。 (2) 作品応募については、多くの賞を多くの児童が受賞した。作品募集に取り組むことで、表現力育成につながった。</p> <p>3について (1) 図書館の本だけでなく、教室にある SSC 文庫や読み聞かせ、授業支援の本を読む機会も多い。図書館や階段上の壁面掲示が読書意欲を向上させている。 (2) 家読だけでなく家庭読書の日の設定（1年）により、家でも本を読む習慣が身に付いてきている。 家読だけでなく、各行事の反省などを通して「自分が感じたことを書く」作業に慣れてきており、文章化することができている。</p> <p>4について スタディポット（デジタルコンテンツ）で AI による宿題作成ソフトが良かった。様々なコンテンツを試して紹介していく必要がある。必要に応じた学習（自学など）ができ始めた。</p>	3.0	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の理解力に応じて個別指導が丁寧に行われていると思う。 宿題を嫌がらずに一生懸命に取り組んでいる。しかし、以前に学習した内容を忘れていく場合が多く継続的な学習が必要と思われる。 家庭学習においては、協力的な保護者とそうでない保護者がいるため、それが学力差にもつながっていると思う。各家庭への周知をお願いしたい。 励ましやできた喜びが学習への意欲につながると思う。 図書館の本が充実しているため、活用して読んでいる。それが、文章を読み解く力になっているのではないかと感じる。 年間を通じているような作品応募に出品しており、新聞に掲載されたりすると児童の励みにもなると思う。 昨年はタブレットを使った宿題があったと聞いたが今年は聞いていない。 文庫本以外の書籍にも興味をもってくれるとよい。 行事などで質問する姿を見て、自ら発表する姿が育っていると感じた。 読み聞かせの時間がもう少し長く欲しいとの要望があった。 子ども達の音読などを録音したものを高齢者の集いの場で届けられると元気がもらえるのだが。
徳 育	<p>重点目標： 豊かな心の育成</p> <p>手段： 1 基本的な生活習慣の形成 2 豊かな感性の育成 3 思いやりの心の育成 4 学校や地域のために貢献する態度の育成 5 いじめ・不登校の未然防止と早期発見・早期解決 6 「自分の命は自分で守る」意識の醸成</p>	<p>1について (1) あいさつは、改善が見られる。「返事」「言葉遣い」は、職員による日常指導を強化し、運営委員会を中心に手立てを考え実施する。 (2) 規範意識を高めるために指導事項を焦点化する。</p> <p>3について (1)(2) 引き続き人権週間を設け、全職員で取り組み情報の共有を図る。</p> <p>4について (1) 金曜日の特別教室及び学級園の整備の日を設けて良かった。「とむすじあ」を意識した、清掃指導を徹底する。栽培活動は、継続して取り組む。 (2) 年度初めに「学校や地域のためにできる」ことを考える時間を設ける。 (3) 「支援ボランティア」の名称を「地域ボランティア」に変え、次年度の引継ぎがスムーズにいくようにする。</p> <p>5について (1) 教育相談によって、早期発見し素早い対応ができている。 (2) 担任だけでなく専科の先生など複数の先生からの情報を共有する。</p> <p>6について (1) 年 2 回の立ち番指導を継続し、登校班会での指導を徹底する。 (2) 本年度を参考に継続して行う。 (3) (2) に合わせて継続指導する。 (4) 学級通信などで学校での取り組みを紹介したり、意識を高める声掛けをしたりする。</p>	3.1	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 何気なく遣っている言葉や流行語（替え歌を含む）が知らないうちに相手を傷つけていないか考える場を設けたり、DVDなどを活用して指導することで思いやりの心が育っていくように思う。 困っている子がいたらすぐに手を差し伸べる子が増えてきたように感じる。 地域性もあり、子ども同士の縦のつながり、横のつながりがしっかりできているように感じる。 あいさつが良く気持ちが良い。 あいさつは誰にでも大きな声でできていると思う。 ほぜ祭りで城攻め踊りや国道沿いの苗植え、道路のごみ拾い活動などで地域に貢献してもらい感謝している。 高齢者が学校のトイレを使用した際、案内や挨拶をしてくれ気持ちが良かった。日頃の徳育のたまものだと感じた。
体 育	<p>重点目標： 体力の向上</p> <p>手段： 1 体力向上の推進 2 規則正しい生活習慣の育成 3 健康に対する意識の向上</p>	<p>1について 各学年で、声掛けをして外遊びの推進ができた。体育の時間で準備運動等で柔軟性を高める運動を取り入れることができた。また、握力の対策はしているが、積極的に取り組む児童が少なかったため、声掛けをしていきたい。 体力テスト結果では、A 判定児童が 20 名（男子 5 名・女子 15 名）で 31.7% だった。A の男子は今年度 17.2% だったので 25% に増えるように、女子は A 判定は 44.1% で昨年度の目標を達成できたので、現状維持または、少し増えるように、来年度に向けて落ち込みのある項目を体育などで強化していきたい。</p> <p>2について 早寝早起きについては、9月のアンケートの結果 99.7% の児童ができていた。歩いて登校については、アンケート結果で 69.1% の児童ができていなかったと回答していたので、保護者にも、歩いて登校するように学校保健委員会でも呼び掛けていきたい。肥満傾向は、14.5% だった。授業でも生活改善を図りたい。</p> <p>3について (1) 立腰については、どの学年もできているとはいいがたい。正しい姿勢については、目の指導の時間で、ある学年で指導できたが、その後も経過を見ているが、なかなか改善できているとは思えない状態なので、学級での、日常指導の徹底を図りたい。 (3) むし歯治療率は、まだ 64% である。学級で呼びかけをしていく。</p>	3.1	3.3	<ul style="list-style-type: none"> 昼休みなどに自分のめあてをもち、積極的になわとびや鉄棒の練習をするなど意欲的に取り組んでいる。 「早寝・早起き・朝ご飯」の早起きは集団登校の集合時刻を守るためにもできているが、夜更かしでゲームしたり朝ご飯も一口だけ食べたりすると聞く。引き続き規則正しい生活習慣が身に付くように願う。 雨の日が特に車の登校が多いと聞いた。 雨天時の傘の差し方や歩き方など習得することは大切だと思う。家庭への啓発をしていただければありがたい。 余った時間にスマホを見る位で体を動かすのが少ないのは残念である。 「早寝・早起き・朝ごはん」の励行は幼児期から続いていることに感謝である。
食 育	<p>重点目標： 望ましい食習慣の育成</p> <p>手段： 1 望ましい食習慣の育成 2 食を通じた感謝の心の醸成 3 家庭・地域等との連携による食への意識の向上 4 安全管理の徹底</p>	<p>1について (1) 給食指導については、各学級の担任の指導により、徹底した指導で残菜もほとんどなかったと思われる。しかし、何度か食器破損などもあったので、片付けまで落ち着いてできるように、声をかけていきたい。 食事のマナーでは、自己評価をしてもらっているが、自己評価ではいいが、できているようには思えない部分もあるので、その都度指導をしていきたい。</p> <p>2について (1) 弁当の日の取り組みについては、2回計画し全員実施はできたが、実施内容に個人差もあるので、1回目より2回目に少しでもできることが増やせるように声掛けをしていきたい。 お弁当の日に向けての取り組みで食育推進事業に参加したり、家庭科で、お弁当の日のコンクールに応募したりして、児童の意欲を高めることができた。</p> <p>3について (2) いも栽培、稲作体験などは、年間計画通り実施できた。また、特別支援の児童の栽培活動では、いちごの苗を植えたり、収穫したりできた。 (3) 給食感謝集会については、2学期後半実施予定。</p> <p>4について (1) 給食指導の徹底については、各学級の担任の指導により徹底できている。 (2) アレルギー対策については、アレルギー食があった日には、担任に声かけをして間違いのないようにしている。食物アレルギー事故は 0</p>	3.4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> 弁当の日の取組でメニューを考えたり自分で自分で買い物をすることで食への関心が高まっていると思う。良い取組である。 地産地消が給食へ取り入れられたり、実際に生産者の話を聞く取組がある事で食の有難みを理解できていると思う。 給食で出されたウズラの卵で死亡のニュースには驚いた。 食物アレルギーをもつ子どもはそれぞれで管理が大変だと思うが、児童本人はみんなと一緒に食べられる幸福感があると思う。

その他	教職員の働き方改革 手段：	1について 年度初めや学期末、大きな行事の前以外は、職員各々が意識しながら業務にあたっていた。完全実施までには至っていないため、働き方に対する意識の継続を図っていく。	3.4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・働き方改革で心身がリフレッシュでき、さらに良い指導ができるようになると思う。良い取組である。 ・リフレッシュデーが良い取組だと思う。是非推進してほしい。 ・小規模校でも業務多忙と思うがリフレッシュデー等を積極的に活用してほしい。 ・行事への参加の際、来校者に応じた対応（駐車場の確保や案内等）をしていただき感謝している。
	1 業務のスクラップと見直しの実施 2 リフレッシュデーの実施	2について リフレッシュデーに限らず、全職員が自己で施錠する意識を持っている。今後も各職員の責任の下、円滑な業務が遂行されるよう意識付けしていく。			

次年度の方向性についての校長所見	<p>本年度の取組と次年度に向けた改善について</p> <p>【知育】表現力の育成及び読書推進、ICTの積極的活用は、成果が見られた。特に、表現力育成は多数の作品展の入賞者があり、児童に自信をもたせることにつながったと言える。一方、学力向上については他項目と比べると評価が低い。学年差や個人差もあるので、引き続き、全職員で諸学力調査の分析に基づいての授業改善や家庭学習の改善を進める。</p> <p>【徳育】基本的な生活習慣、「自分の命は自分で守る」意識の醸成、いずれの項目も、継続した指導により少しずつ向上している。いじめ・不登校等についても、職員が努力し早期発見・早期解決に努めてきた。更に家庭や関係機関と連携しながら、引き続きの指導に努めていく。</p> <p>【体育】いずれの項目も一定の成果をあげている。特に「早寝・早起き・朝ごはん」は各家庭の協力により良好な結果であった。ただ、「歩いて登校」「肥満傾向」「むし歯の治療率」は目標値には至らなかった。次年度は、児童への健康の意識付けと更なる家庭との連携を図っていく。</p> <p>【食育】いずれの項目も高評価であった。特に本年度は、地域と連携した体験活動を組み合わせ「弁当の日」の充実に努め、大きな成果が見られた。食を通して感謝の心が育っていると言える。このまま充実した指導を図る。</p> <p>【その他】教職員の働き方改革は高評価であった。課題は、リフレッシュデーの完全実施ができていなかったことである。更なる効率的な業務推進に努める。</p>
------------------	---